

図画工作科学習指導案

題材名 木々をじっと見つめて ～自分の気持ちに合った木を描こう～

目 標

- 自分の気持ちに合った構図、色づかいや筆のタッチを工夫しながら描くことができる。
- 作品のよさやよい価値に向かう傾向をもつ発言や心情にかかわることで、豊かな人間性を育む。

学習過程

時	学習活動	教師の支援・留意点
2	<ul style="list-style-type: none"> ○校庭の木から表したいことを見つめる ○画用紙に鉛筆で木のフォルムや葉の向きなど簡単に下書きする 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の選んだ木の様子（光や枝など）について話し合う。 ・木から受けた感じを大切にして、自分なりの見方（遠くから見たとか、風に吹かれている感じなど）で描かせる。
4	<ul style="list-style-type: none"> ○赤・黄・青で色のグラデーションをつくろう ○練習“木の葉”を使って筆づかいを工夫して塗ってみよう ○自分の気持ちに合った色づかいや筆のタッチを工夫しながら“自分の木”を描こう 	<ul style="list-style-type: none"> ・混色によってできる色に見通しがもてるように、学習シートの枠を工夫し、グラデーションが実感できるようにする。 ・サッという感じ、サッサッという感じ、テンテンなのか、モクモクなのか、一番表したいことにこだわって筆を運ばせるような練習をさせる。 ・下書きを修整してもよいことを伝え、思いっきり描かせる。 ・自分の思いを色や筆づかいで絵に表現できたか、はじめの絵からどう変化したのか、学習シートに記録させる。
2	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の思いをどう表現したのか発表する ○メッセージカードによいところを書いて渡す 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の感覚や体験などを基に、自分の表現方法を追求している“草間彌生”の作品を紹介し、トリエンナーレ会場で本物と出会えることを話す。